

四国中央市立三島南中学校（１・２年生）

令和３年２月２４日（水）

えひめジョブチャレンジU-15事業



三島南中学校１・２年生１５０人が、「働く人々に学ぶ講座」として地域の３か所の事業所等の方に来ていただき、仕事の内容、働くことの意義ややりがい、必要な資質等について、お話を聞いて学びました。

<生徒感想>

（四国中央テレビ）

市内中どこでも公平に電波を提供することに重点を置いてサービスを提供しているとわかりました。コロナ禍の中でも、映像を見る人々に楽しんでもらえるように、様々な工夫をしていました。

（四国中央市消防本部）

消防署の仕事は火事の時に火を消している姿しかあまり知りませんでしたが、大変な訓練で精神力などを鍛えているのはすごいと思いました。訓練服が２０kgあるのにはとても驚きました。そんな人たちのお陰で、今の自分の生活があるんだと思いました。

（四国中央市立三島南幼稚園）

幼稚園の先生がどんな仕事をしていたのか知らなかったのですが、自分がやっていた一つ一つの取組に、意味があることを初めて知りました。体調管理だけでなく、親と生活の様子を共有するなど、様々な角度から物事を考える力や責任感が大切だと感じました。また、子どもを好きと思うことや楽しいと思えることも大切だと考えました。



幼稚園の頃に戻って、みんなでじゃんけんゲームを体験しました。懐かしい！